



～ 世界糖尿病デー 2019 ～  
第142回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）  
第181回IIDES糖尿病研究会  
第116回CDE兵庫県連合会研究会  
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2019年11月30日(土) 14:00~17:15

場 所 : 神戸商工貿易センター 26階 第1会議室  
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL: 078-251-5489

プログラム :

14:00~14:15 ニプロ株式会社 —情報提供—

14:15~15:45 (座長: 鹿住 敏 甲南加古川病院 糖尿病外来、武庫川女子大学 栄養科学研究所  
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

講演1. 『糖尿病性腎症進展防止を目的にした糖尿病透析予防指導への  
取り組み』

医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 管理栄養士 竹本 昌代 先生

講演2. 『糖尿病患者さんの眼所見 ～検査と治療の進歩～』

眼科いのうえクリニック 院長 井上 正則 先生

15:45~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、  
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『かかりつけ医と地域が取り組む糖尿病性腎臓病 (DKD) 対策』

医療法人きたうらクリニック 院長 北浦 圭介 先生

(1) 参加費: 2,000 円

(2) 申込方法: 事務局へご氏名、ご所属、職種を明記の上 FAX または E-mail にてお願い致します。

(3) 連絡事務局: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO - IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL: 078-591-7515 FAX: 078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 講演1: CC10・0.5 単位、講演2: CC36・1 単位、講演3: CC12・1.5 単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1 単位 申請中

※ 日病薬理学認定制度 2 単位 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2 単位

■CDEJ および CDEL の認定証が必要な方は、当日必ず受付にてお申し出下さい。

■CDEJ 認定証が必要な方は、CDEJ 認定番号をご準備して下さい。

■日医生涯教育認定証が必要な方は、医籍登録番号をご準備して下さい。

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所  
糖尿病療養指導士兵庫県連合会  
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会  
ニプロ株式会社

## 一 抄 録 一

### 講演1. 『 糖尿病性腎症進展防止を目的にした糖尿病透析予防指導への取り組み 』

竹本 昌代 先生 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 管理栄養士

糖尿病の合併症による腎症進展を予防し、透析導入を阻止することを目的に当院では2012年5月より糖尿病透析予防チームを立ち上げ医師・看護師・管理栄養士による糖尿病透析予防指導を開始。チーム医療での腎症重症化予防への取り組みをご紹介します。

また、活動の一環として『糖尿病透析予防指導介入群と未介入群の腎症ステージの変化の比較』を行い、糖尿病透析予防指導介入群では腎症増悪遅延に力を発揮できる結果が得られたので併せて報告させていただきます。

### 講演2. 『 糖尿病患者さんの眼所見 ～検査と治療の進歩～ 』

井上 正則 先生 眼科いのうえクリニック 院長

糖尿病での眼の所見は血管障害である網膜症がまず挙げられる。しかし血管がない角膜や水晶体にも糖尿病による変化が見られる。ドライアイは近年増加しており糖尿病は悪化要因の1つである。水晶体に糖尿病による白内障が見られる事がある。光を感じる網膜や視神経は神経組織であり、最近網膜症が見られる前から糖尿病の変化が見られることが明らかになった。網膜症の出現はわかり易いが先行する視神経が共存し進行している。糖尿病網膜や視神経には血管と神経障害が生じており、やがて強い視機能障害につながる。糖尿病では眼球全体に色々な変化がみられる。糖尿病患者さんのクオリティ・オブ・ビジョンを守る治療を考えてみたい。

### 講演3. 『 かかりつけ医と地域が取り組む糖尿病性腎臓病 (DKD) 対策 』

北浦 圭介 先生 医療法人きたうらクリニック 院長

1998年以降、糖尿病性腎症が新規透析導入疾患第1位を維持している。増加する糖尿病性腎症に対し2012年に糖尿病透析予防指導管理料が新設され、医療機関でも対策が講じられてきた中、最近では、行政を含めた糖尿病性腎症腎重症化予防が策定された。我々がよく見るDKDが国にとっていかに重要な課題であるということを改めて認識しなければならない。2008年にCKD分類が作成されたことにより、クリアチニン、推定GFRに対する国民の意識が大きく変わってきたと同様、今後DKDに対しても認識が大きく変わってくるものと期待している。その中で、個々のDKD患者へのかかわり、アプローチ、治療、また、開業医として地域住民に対してできることを症例を交えてお話をしたい。

## ◇神戸商工貿易センター 神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489



三ノ宮駅 (JR) 三宮駅 (阪急・阪神・市営地下鉄山手線) 下車徒歩10分  
三宮花時計前駅 (市営地下鉄海岸線) 下車 徒歩5分  
三宮駅 (ポートライナー) 貿易センター駅下車すぐ